

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	高尾 兼利	所属・職名	子ども学部 子ども学科・教授
専門領域	臨床心理学	学位称号	文学修士 1981 (昭56)
最終学歴	1981 (昭56) 広島大学大学院教育学研究科教育心理学専攻 (博士課程前期) 修了		
資格・免許等	臨床心理士		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	発達心理学、幼児理解の理論と方法、教育心理学、子どもの心理、精神保健、人格心理学特論、教育臨床心理学、発達と老化の心理、基礎演習あすなろう		
教育方法の実践例	<p>1 教育方法の実践例</p> <p>1) 「昭和の生活文化研究」の実践とコミュニケーション能力の向上 平成17年度内、介護実習教育について検討する中で、学生の「コミュニケーション能力」の向上が必要との強い指摘がなされた。その方法として、本学内で学ぶ中高齢者との交流がこの向上に寄与するとの発想が生まれた。交流の媒体として「昭和の生活文化研究」を思いついた。その手順は以下の通りである。対象は介護実習前の1年生である。</p> <p>①学内中高齢者に「昭和の生活文化」について質問する。回答をまとめ、提出する旨伝える。②質問者と回答者に分かれ、役割演技を試みる。③テーマを選択し、中高齢者に質問し、回答をまとめ、提出する。④提出された情報を基に、「昭和の生活文化研究」を発行する。</p> <p>このような試み(③まで)を実習前に行い、実習指導の中で、この体験の効果を尋ねた。「利用者の方とのコミュニケーションの際の話題として、この体験が役立った」「高齢者に対しての違和感が薄らいで、実習を始めることができた、コミュニケーションに積極的になれた」等の回答を得た。</p> <p>この試みは、学科全体の教員の支援を得ながら、馬場講師、光野講師と共同で実施した。</p>		
教材の開発	<p>2) 「発達心理学 I」における「絵本」を活用しての「心の発達」に実感を持たせる試み</p> <p>本学図書館所蔵の「絵本」の中から、「心の成長」を読み取ることが出来る絵本を選択させ、その解説を求めた。そのとき、絵本選択に十分な時間を与えることにした。</p> <p>当初、受講学生は戸惑いを見せていたが、自発的に該当絵本を探し当て、発表した。この試みは平成16年度から実施している。いずれの年度においても、「心の発達」について、実感が持てた、との評価が受講生から与えられている。</p>		
教育改善活動等	<p>2 作成した教科書、教材</p> <p>教科書「臨床心理学の理論と実践」の共同編集と授業への活用から、教科書「保育と教育に生かす臨床心理学」の共同編集(筆頭編集者)と授業への活用 保育の実践力向上に寄与する教科書作りの試み(平成15年4月より現在まで)</p> <p>幼児教育、保育の実践力向上に、「心理学」がどのように寄与できるのか。そのための教科書はどうあるべきか。これは長年のテーマである。</p> <p>1990年(平2)に、「臨床心理学の理論と実践」を編集した。まず、それまでの多くの教科書に見られた「研究結果の羅列」の変更を意図した。実践者が心理学に求める内容を想定した。その結果、理論と実践を結びつけて学生に解説することから始めることになった。このテキストは発刊以来21年を迎えるが、現在でも他大学等で活用されている。</p> <p>より幼児教育、保育に接近した内容を盛り込むことを意図して編集したのが、「保育と教育に生かす臨床心理学」である。筆頭編集者を務めると共に、その第1章「保育と教育の現場における臨床心理学の活用」を執筆した。受講生すなわち、将来保育士、幼稚園教諭になる人が、日常の保育に「心理学」の視点を当てることができることを望んだわけである。授業では、「こんな風に考えると、子どもたちの行動の心理学的意味が分かるんだ」の評価が得られている。しかし、一方では、「分かったとして、これが実践にどのように結びつくのか」との疑問の声も少なくない。今後、実習で出会うエピソードを豊かに取り入れた教材を開発すべきものと考えます。</p>		
職務上の実績に関する事項			

研究業績等に関する事項

《平成19年度～平成23年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
1. 論文 2) 教師の体罰体験について ―教師との対話を素材にして― 3) 職場のメンタルヘルスに関する調査に対する臨床心理士の理解 4) 心理療法の経験と成熟	共著 単著 共著	佐賀短期大学紀要（第39巻） 西九州大学短期大学部紀要（第 西九州大学子ども学部紀要	2009年3月 2010年3月 2011年3月

研究助成等

学会及び社会における活動等

1. 所属学会
日本心理臨床学会、日本精神分析学会、九州臨床心理学会、絵本学会
2. 社会における活動
佐賀県臨床心理士会長、佐賀市次世代育成支援対策地域協議会委員長、広島精神分析研究所理事